

第40週の発生動向 (2004/9/27~2004/10/3)

- 1 感染性胃腸炎については、第39週に比べ37人の増加となっており、注意が必要です。特にむつ保健所管内では前週に比べ27人の増加となっています。
- 2 手足口病については、上十三保健所管内での報告数が多いことから引き続き注意が必要です。

第40週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															
(60) 咽頭結膜熱			1	0.10									1	0.02	±0
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.50	6	0.60	1	0.11			4	0.67	6	1.50	21	0.50	2
(62) 感染性胃腸炎	19	2.38	18	1.80	4	0.44	1	0.20	2	0.33	33	8.25	77	1.83	37
(63) 水痘	2	0.25	2	0.20	3	0.33	3	0.60	5	0.83			15	0.36	-15
(64) 手足口病	1	0.13	1	0.10	3	0.33			22	3.67	6	1.50	33	0.79	15
(65) 伝染性紅斑															
(66) 突発性発疹	4	0.50	5	0.50	5	0.56	1	0.20	3	0.50	6	1.50	24	0.57	7
(67) 百日咳							1	0.20					1	0.02	1
(68) 風疹											1	0.25	1	0.02	-1
(69) ヘルパンギーナ	24	3.00	2	0.20	2	0.22	7	1.40	1	0.17	5	1.25	41	0.98	-2
(70) 麻疹(成人を除く)															
(71) 流行性耳下腺炎	5	0.63	2	0.20	13	1.44							20	0.48	8
(73) 急性出血性結膜炎															
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33			2	2.00					4	0.36	2

	定点数			
	インフル エンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

■ は注意報、■ は警報です。 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

(14) 腸管出血性大腸菌(三類全数把握疾患)	弘前保健所管内: 1人(O157)	合計1人	(16年計 24人)
(59) RSウイルス感染症(五類定点把握疾患)	弘前保健所管内: 1人	合計1人	(16年計 48人)

感染症の窓

クリプトスポリジウム (Cryptosporidium parvum)

最近の事例 2004年8月、長野県に滞在した千葉県と埼玉県のグループからプールを介した集団発生がありました。その結果、8月の感染症発生動向調査(累計)では6人だった患者報告数が62人となりました(表1)

病原体 胞子虫類に属し、動物の腸管系に寄生する原虫です。環境中では「オーシスト」と呼ばれる嚢包体の形で存在します(図1)。ウシやネコ、ブタなどの動物に経口摂取されると、消化管に寄生して増殖し、そこで形成された「オーシスト」がふん便とともに体外に排出され感染源となり、感染した人の便にも多くの病原体が含まれます。また、「オーシスト」は塩素に対し耐性を示し、水道水に含まれる塩素濃度では除去できないことが特徴です。

感染予防 汚染された水で感染するため登山や山歩きなどでは、湧き水や沢水を飲まないようにすることが必要です。また、下痢をしていたらプール等には入らないことが大切です。

臨床症状 感染後2~10日で、下痢(粘液を含む緑褐色で悪臭を伴った水溶性の下痢) 腹痛、倦怠感、食欲低下等が起こり、軽度の発熱を伴うこともあります。体の弱っているヒトが感染すると重症になるので注意が必要です。

表1 全国における患者数累計
2004年1週~40週(9月現在)

全国	62人
青森県	0人
埼玉県	12人
千葉県	45人
東京都	5人



直径約5μm

図1 クリプトスポリジウムのオーシスト

日本食品微生物学会誌より